

浜松支所「研究発表会&記念講演・総会」を開催

浜松支所の研究報告集を発行

7月16日(土)に浜松労政会館において、「浜松支所 研究発表会&記念講演・第3回総会」が24名の参加で開催されました。

研究発表会

鈴木二郎氏(浜松市労連)「浜松市『行革審』のその後」

スズキ自動車会長の鈴木修氏が、浜松市行財政改革審議会の会長として、浜松市政の実質的な支配者となっていました。鈴木修氏が行革審会長退任後も、市政への影響力は絶大なものがあり、市議会定数の削減や、スズキへの各種の協力施策が実行されている実態が紹介されました。

永桶憲一氏(浜松支所事務局長)「トヨタのリコール問題その後」

トヨタのリコール問題とは何だったのかを確認し、日本のリコール制度の不十分さ、製品の安全規格の見直し、トヨタの「縦割り組織」の問題が指摘されました。また、今後の課題として、非正規労働者の大量解雇が繰り返される、現在の自動車づくりのあり方の転換が提起されました。

記念講演 塩沢忠和氏(弁護士)「丸八真綿不当解雇撤回裁判・勝利和解の意義」

丸八真綿による会社分割を悪用したリストラに対し、不当解雇された岡本さんが裁判を闘い、勝利和解をしました。労働者側が敗訴した日本IBMの会社分割事件にも触れながら、丸八真綿の巧妙なリストラ策の本質を暴き、今回の裁判で全面勝利を獲得した意義が強調されました。

浜松支所第3回総会

2007年発足以降、定例研究会を行ってきましたが、今回、これまでの研究会の成果として、浜松支所の研究報告集が発行されました。支所員の補強も随時行われ、働く人の立場から労働実態について研究していくことの重要性が改めて確認されました。

第71回定例研究会(7月15日(金) 於: 県評)

公契約運動の取り組みを紹介

桜井眞吾氏(京都市職労 副委員長)「京都市職労における公契約運動」

2008年京都市長選の後、市職員の「カウンター越え」運動の一環として、2009年3月に「公契約研究会」を立ち上げました。

学習会や世論形成、公契約関連労働者へのアンケート、企業経営者も交えたシンポジウムなどを実施し、京都市職労としての公契約条例モデル案を確立しました。

今後、更なる世論形成を図り、地域経済の活性化、自治体のあり方なども確認しながら、条例実現に向けて運動していくことが報告されました。

【今後の日程】

9月14日(水)18:30

浜松支所 定例会 於: 西部地区労連

9月16日(金)18:30

9月定例研究会 於: 県評

9月28日(水)18:30

理事会 於: 県評

* 連絡先: 静岡市駿河区稲川 2-2-1 コハラサウスサイドビル 7F

静岡県労働研究所 TEL054-287-1293 FAX054-286-7973